

銀行サービスへのアクセス

新しいデータベースによると、人々の貯蓄、借入れ、支払い、リスク管理の仕方には格差がある

世界の成人の50パーセントは銀行、信用金庫、信用組合、郵便局、あるいはマイクロファイナンス機関といった正規の金融機関に口座を持っていない。この25億人の「金融機関と無関係な」人々にとっては、安全な貯金場所はなく、こうした人々は信用支払いといったクレジットの利用も限定的になる傾向がある。そして金融機関に口座を持たなければ、送金を受領したり、貸金や政府からの支払いを受け取るのは難しい。

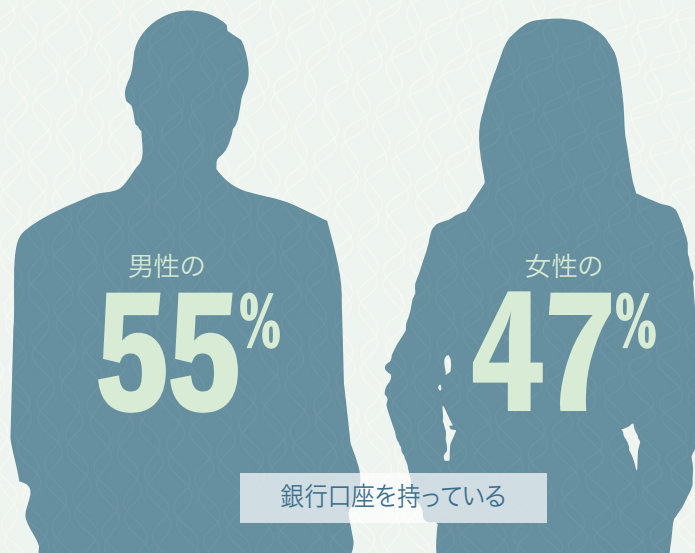
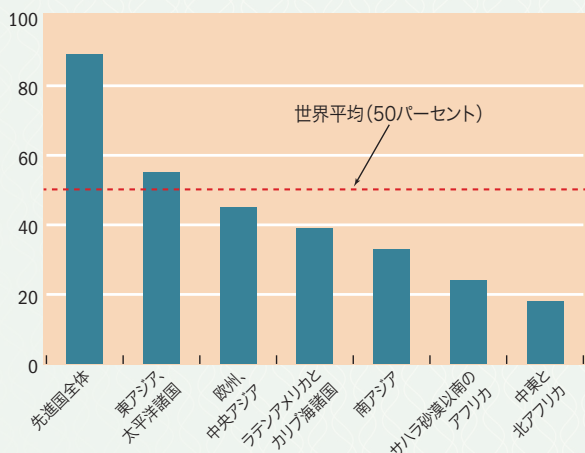
貧困層、女性、若年層の銀行に関する行動を示す指標はこれまでのところ大半の国で欠如していた。この穴を埋めるため、世界銀行と調査会社のギャラップは2011年に148ヵ国で調査を実施し、成人が正規の金融セクター、又はそれ以外の場所でどのように貯蓄し、借入れし、決済やリスク管理を行っているかについての調査を行った。

きわめて大きな格差

予想通り、地域、国、そして(性別、教育、年齢といった)個人の属性により大きな格差があることがデータにより明らかになった。世界銀行のグローバル・フィンデックス(Global Findex)データベースによると、先進国では89パーセントの成人が銀行口座を持っているのに対し、発展途上国の成人の保有率は41パーセントである。最貧困層では1日2ドル未満の生活をしている成人の23パーセントが口座を持っている。世界中では55パーセントの男性が銀行口座を保有しているのに対し、女性の保有率は47パーセントだった。

銀行口座を持たない理由のうち最も一般的なのは、「口座を持つ必要があるほどの額の金がない」(回答者の65パーセント)、銀行や口座にコストがかかりすぎるか遠すぎる(それぞれ25パーセントと20パーセント)、口座開設に必要な書類がそろえられない(18パーセント)というものである。これらの理由は、物理的障壁や手続や金銭面の障壁を取り除けば、銀行口座の利用拡大は可能であり、それによって得られる財務面でのメリットも広げられることを示唆している。

世界の成人の半数は銀行口座を持っていない
(正規の金融機関に口座を保有する成人の比率、パーセント)



貯蓄クラブと友人

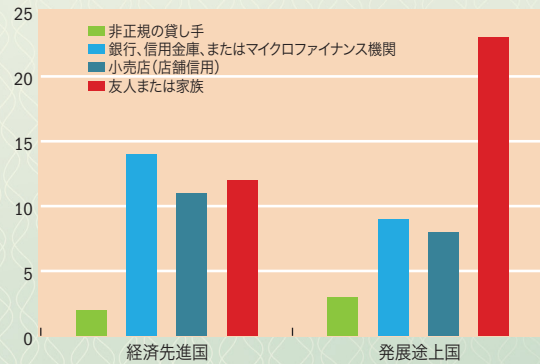
世界で36パーセントの成人が過去12か月の間に貯金をしたと回答したが、それを銀行をはじめとする正規の金融機関で行ったと回答したのは22パーセントだけである。世界の約9パーセントの成人は過去12か月に銀行から借入れを行ったのに対し、23パーセントは友人や家族から金を借りた。発展途上国では地域に根ざした貯蓄クラブが銀行での貯蓄への一般的な代替物、あるいは銀行貯金を補完するものとなっている。こうしたクラブとして知られているものとして西アフリカの「スス(susu)」、ペルーの「パンデロ(pandero)」がある。一般に、参加者から一週間ごとに預金を募り、その全額を週ごとに別の参加者に払い込むという形で機能している。

モバイル革命

発展途上国で金融サービスが拡大している明るい領域がある。最近、導入された「モバイルマネー」である。ケニアでは、「M-PESA」と呼ばれる送金システムが多くの人に親しまれているが、データからはサハラ砂漠以南のアフリカ全域でモバイルマネーが成功を取めていることが明らかであり、成人の16パーセントが過去12か月の請求書の支払い、あるいは送金や金銭の受領に携帯電話を使っていた。こうした成人の半数は、こうした手段がなければ銀行サービスから遮断されていた。しかしながら世界で見ると、発展途上国のモバイル・マネーの平均利用率は5パーセントに過ぎず、アフリカ以外の地域では規制をはじめとする障壁が依然としてモバイルマネーの導入を阻んでいることを示唆している。 ■

ほとんどの人は貯金をするのに銀行を利用しない

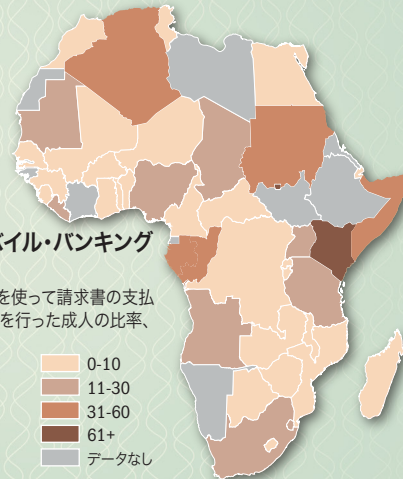
(過去1年に借入れを行った成人がどこから借りているか。パーセント)



注記: 2ヵ所以上からの借入れもありえる

アフリカではモバイル・バンキングがテイクオフ

(過去1年に携帯電話を使って請求書の支払い、送金や金銭の受領を行った成人の比率、パーセント)



先進国の

89%

の人々が銀行口座を持っている

発展途上国の

41%

9%

の成人が過去1年に銀行から借入れを行った



運動する人々(東京)



街角(ケニア、ナイロビ)



チャムロウン・マイクロファイナンスの支店で働く女性たち(カンボジア、ポチェントン)

世界銀行の金融と民間セクター開発総局に所属するアスリ・デマーグック・クント(Asli Demircuc-Kunt)とレオラ・クラッパー(Leora Klapper)による記事。データは48か国の15万人以上へのインタビューに基づくグローバル・フィンデックス(Global Findex)のデータベースによるもの。データは次のサイトで入手可能である。www.worldbank.org/globalindex